

## 荒井郁之助と浦賀ドック

郷土史家 山本詔一

明治二十四（1891）年三月三十一日に、日本標準時を定め、日本で最初に公式な日食観測を行い、全国に測候所を整備した一人の男がいた。初代中央気象台長を勇退した荒井郁之助である。

荒井が退職した年の五月、西浦賀の愛宕山に榎本武揚が篆額を書き、荒井の義弟の田辺太一が碑文を著した「中島三郎助招魂碑」が建てられた。中島は浦賀奉行所与力として活躍し、特にペリー来航の折に最初にサスケハナ号に乗り交渉を行った人物として知られている。ペリー帰帆後、幕府からの命により日本で最初の西洋式軍艦「鳳凰丸」建造に携わった幕末の造船界のリーダー的存在であったが、幕末に北海道五稜郭の戦いで二人の息子と共に戦死し、長いこと賊軍の扱いであった。

荒井と中島は、安政四（1857）年七月に江戸・築地に開校した海軍操練所で共に学んだ仲間であった。とはいっても中島は安政二（1855）年から長崎海軍伝習所でみっちり海軍、特に機関術を学んできたが、荒井は安政四年の開校時に学生として入り、操練所の頭取であった叔父・矢田堀景蔵の影響を受け、めきめきその素質を伸ばして教授方手伝いから始めているので、どちらかといえば最初は師弟関係に近かったものと思われる。

中島の生涯最後となる戦いの場に榎本も荒井もあり、そんな関係から招魂碑の建立に関係をもった二人であったが、ここに榎本のもとで通信省管船局長をしていた塚原周造が加わって、中島の意志を継ぎ、浦賀に造船所を開設する提案が行われた。

このプロジェクトが動き出すのは明治二十六（1893）年ごろからで、これに最も関わりを持ったのが、中央気象台を勇退したばかりの荒井であった。荒井は造船所開設プロジェクトの拠点として東浦賀の旅館・徳田屋の二階に置き、本格的な事業計画を練りだした。

浦賀へ居を移した荒井は、造船所開設の場所を選定していた。そして、出た結論は「浦賀の中心地からゆっくり歩いて十五分ほどのところにあり、牡蠣の養殖に適した入江で、百石から三百石の船なら潮時をみて出入りができ、現地調査をしたところドック建設の適地であることを確認した」と榎本へ手紙を出している。

手紙の場所は、江戸末期の天保期に埋め立てられて干鰯市場があったとこ

ろであるが、幕末には幕府海軍のために使用されていた。さらに明治初期には水兵の基礎訓練が行われた海軍屯営が置かれ、このプロジェクトの少し前までは陸軍の要塞砲兵幹部練習所があった。榎本には、この土地の払い下げにあたって強力なバックアップをお願いしている。

ところが、公的な土地は榎本の方で何とかできても、民間の土地は簡単にはいかなかった。この交渉には東浦賀に在住していた若村忠直も協力したが、大変に難航した。

というのも、この時西浦賀の先端部に、渋沢栄一が石川島造船所の開設準備をしており、財力にものをいわせて、町はずれの民有地を高価な条件で次々に買収していたからである。それに引き替え、荒井や若村は住環境として申し分のない土地を何とか安価に取得できないものかと思っていたので、それ相応のリスクを背負っていた。という訳でこの時、荒井は浦賀出身の相撲取りであった「浦の海」をガードマンとして雇っていた。

この榎本率いる浦賀船渠と渋沢の石川島の対立は、当時の新聞でも「武士と町人の喧嘩」として取り上げている。こうした困難を乗り越えて明治二十九（1896）年九月、浦賀船渠は会社の設立総会にまでこぎつけた。ここまでレールが敷けると、荒井は初代社長を塚原周造に譲るかたちで第一線から退き、監査役として浦賀船渠の行く末を見守り、明治三十五（1902）年には退社し、明治四十二（1909）年七月、七十四歳の生涯を閉じた。

**イベント情報** 第33回 レンガドック活用イベント  
レンガと近代遺産～浦賀ドックとまちの変遷～

10/13(土) 14:00～17:00 住友重機械工業(株) 浦賀工場内

**入場自由** ①シンポジウム

時間 15:00～17:00

教育委員会生涯学習課・野内秀明さん、市史編さん室・水野僚子さんによる講演と、郷土史家・山本詔一さんを交えた対談

②産業遺産見学会

時間 14:00 ドック先端付近集合

③レンガの展示～市内の近代遺産のレンガ～

時間 14:00～17:00

### 編集後記



今号から、浦賀在住の皆さんで結成したボランティアグループ「レンガドックかわら版編集部」が編集を担当しています。ボランティアスタッフは随時募集中です。 <<事務局>>

取材、編集、レイアウト…右往左往して何とか完成。甘口、辛口のご意見をお待ちしています。 <<小舟>>

昔、浦賀駅前にあった映画館の話題なども取り入れて、広い層の方々に楽しんでもらえる誌面にしていきたいです。 <<ミズキ>>

想いと歴史が染み付いたドック内での撮影は素晴らしいものでした。機会をいただいた方々に感謝しています。

<<写真担当 A>>

# レンガドック かわら版

産業遺産と  
浦賀の歴史と今を伝える広報誌



第2号  
2012.10.1

特集

第32回レンガドック活用イベント実施報告

造船技術をつかった

“フォトフレーム”作り

& 産業遺産見学会

連載

ドックのお話 02

昔、ドックで働いていた方へインタビュー

うらが今昔② 郷土史家 山本詔一

荒井郁之助と浦賀ドック

イベント情報

レンガにちなんだシンポジウムを開催します！

編集後記

今号から私たちがつくっています

ボランティアグループ

“レンガドックかわら版編集部”

### ■浦賀ドックには

歴史的価値の高いレンガドックをはじめ、産業遺産が集積しています。

### ■レンガドック

レンガ造のドックは日本に2基しか存在しません。もう1つの川間ドックは現在ゲート（扉船）が開放され海と一体になっているため、ドライドックとしての形を残すものは、このドックが日本で唯一となります。

これ、  
なにをする道具かな？



⇒答えは3面

# “フォトフレーム”作り & 産業遺産見学会

8月18日(土)に浦賀ドックで、第32回レンガドック活用イベントが行われました。今回は、保護者同伴の小学生向けの工作体験です。昔職人だった方もいる“ドックと浦賀の歴史を愛する会”(以下、“愛する会”)の皆さんが子どもたちに教えてくれました。“愛する会”の浅倉さん(写真②右側)によると、昔はネジも造船所でつくっていたそうです。



小学生一人ひとりに、“愛する会”の皆さんや保護者が寄り添い、工作が進みます。

ここでちょっと昔の現場見学...

**産業遺産見学会**  
 機関工場では、元責任者である岡田さんから旋盤の説明を受けて、実際に触らせてもらいました。  
 ※本ページ下段には岡田さんのインタビューがあります。



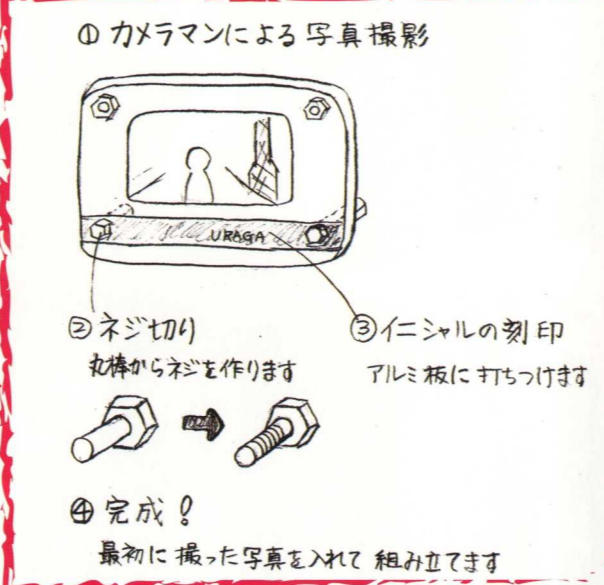
3 さずがお兄ちゃん!!  
 先に上手にできたお兄ちゃんは、弟のお手伝いをしていました。



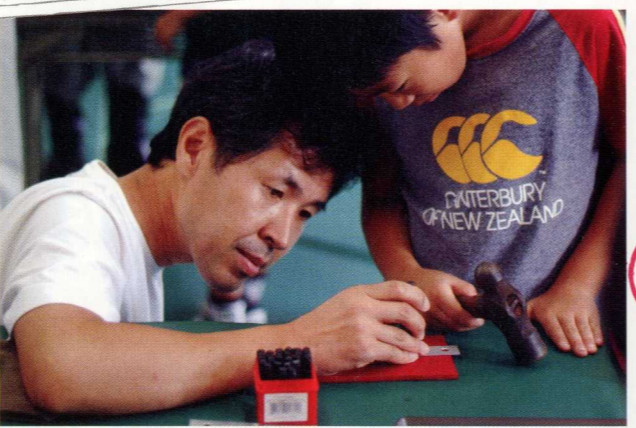
4 出来上がったフォトフレームを、きれいな色のリボンをつけた紙袋に入れて、おしまい。また来てね。



1 レンガドックを背景に、参加者の写真撮影。



2 ネジをまっすぐ立てて挟むのが難しい。力まかせにやると道具のタップが折れてしまうので、加減をしながら慎重に。

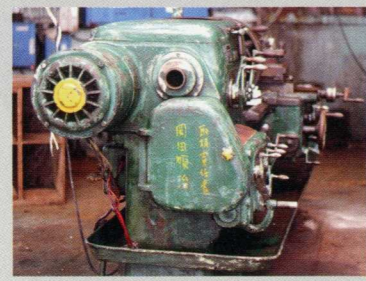


お父さんもつい、一生懸命に...

## ドックのお話 02 昔、ドックで働いていた方へインタビュー

8月18日のイベントでは、造船技術の「工作体験」に続いて、昔の造船現場を巡る「産業遺産見学会」が行われました。機関工場に残されている旋盤には“取扱責任者 岡田順治”と書かれています。イベント当日、岡田さん本人が駆け付けてくれたので(本誌1面写真)、お話を伺いました。

— 機関工場の旋盤に岡田さんのお名前がありましたね —  
 平成5～15年ごろのことです。旋盤部門の責任者を任されています。旋盤は船の材料を削る機械です。当時、大きいものは70尺(約21m)もありました。つくっているものが大きいですからね。今日、産業遺産見学会で参加者に見てもらったものの10倍以上あって、国内に数台しかなかったの、とても重宝され、ほかの造船所から



左：元責任者の岡田順治さん  
 右：旋盤には岡田さんの名前が書かれています

も仕事を受注していましたよ。

— 仕事をしていて一番うれしかったのは? —

船が完成して出航するときですね。わたしは自衛隊の船を担当することが多かったのですが、青函連絡船や日本丸も造りました。日本丸を見ると、今でも込み上げてくるものがあります。

— やっぱり忙しかったのでしょね —

高度経済成長期には受注ラッシュで、徹夜仕事が3日続くなてこ

ともよくありました。その時はつらかったけど働けることがうれしくて、とても楽しかった。仕事が一段落してみんなでお酒を飲むと疲れも吹き飛びましたよ。あのころ、工場の同僚たちがもう一つの家族のようでした。

— 今では、世の中全体の働き方もかなり変わりましたよね —

おかげさまで昨年、喜寿を迎えましたが、浦賀ドックで60年間働かせてもらえて本当によかったと思っています。今の若い人は、ちょっと何かあるとすぐに辞めるみたい

ですが、やるからには一生の仕事として覚悟を決めれば必ず良いことがあるというのを、なんとか分かってもらいたい。長生きの秘訣も働けるということかもしれないよ...

— さいごに、浦賀ドックのお気に入りのロケーションを教えてください —

浦賀警察署の裏の高台からドックを見るのが好きでしたね。全景が見えて、特に夕暮れ時には特別の雰囲気がありますよ。